

熊野にアウトドアのプロガイド協会誕生
国内外のプロガイド資格保持者を正会員とするガイド協会が発足しました。
2015年3月より活動開始

熊野ガイド協会（本部：和歌山県田辺市本宮町、会長：上野勝美、副会長：森田渉）は、熊野地域は文化的世界遺産地域というのはもちろんですが、その自然環境もまた世界的に価値があるものと考え、欧米にも匹敵するプロフェッショナルガイドの組織を構築するために発足いたしました。

紀伊半島南部（熊野）は今や過疎地域となっています。

人口減少と共に既存の仕事が少なくなり、若年層が都会へ流出してしまっています。

現状ではどうにも止められないことになっているようです、しかしその反面アウトドアガイディングの対象となる素晴らしい自然が残っています。

しかし現状この地域で活動をしているガイドは、有償ではあっても、この地域の既存の仕事の日当には到底満たないボランティア的なのが現状で、実際にはリタイヤした年配者や仕事を持ちつつ時間を余した人・主婦以外は誰もガイド活動を行うことができていません。

●そこで我々考えました。

欧米のように、「ガイドは、仕事として職業としてプロとして行うものだ！」と。

海外（欧米）のアウトドア先進国と言われる地域では、ガイドの社会的地位は非常に高く、医師や大学教授に匹敵するものとなっています。

それは、日進月歩しつつも確立されたガイド資格という狭き門をくぐり抜けたガイドが、更に日々技術を磨き、知識を蓄積し、お客様を安全に自然の中へエスコートすることに誇りを持っているからだと思います。

ここ熊野でも、ガイドを「職業＝生業」として、自身のLifeを楽しんでいるようなガイドが1人でも多く輩出できれば、それは若者の憧れにつながるのではないのでしょうか。

そして、そのガイディングが生活の基盤になっていければ、ガイドという「仕事」が創生でき、最終的には若者がガイドを生業とする・できることで人口の減少・流出抑止にもつながるのではないかと考えています。

われわれ熊野ガイド協会は、仕事＝生業＝プロとして意識の高いガイドの育成、そして安全で楽しいガイディングを行っていきます。

その為に、我々は同じ志を持つ仲間（会員）とともに日々の研修・研鑽・意見交換を怠らず、常に新しい知識・技術を蓄積して行きます。

そして、国内外からのお客様を安全に自然の中へエスコートし、熊野というブランドを世界中に発信できればと考えております。

◆協会理念

ガイドはプロ(仕事)として！

「ガイド」という職業への認知度が低い日本（熊野）では、ガイドの仕事をボランティア（熊野では語り部など）と混同される方が多く、リスクマネジメント（安全管理）を置き去りにして、単に一緒に歩いてくれて説明をしてくれる人と思われがちです。

しかし、私たち熊野ガイド協会では、ガイドのプロとしてそれを生業とし、有償でのガイディングによりお客様を安全に自然の中へエスコートし、古くから信仰の対象となってきた熊野の自然を楽しみ、また守ることの大切さをも伝えることを目的に集まっております。

●プロのガイドとしてお客様の安全を最優先とし、熊野での体験をより充実したものにします。

国内外のアウトドアガイド資格（地方自治体の任意資格だけではなく）を所持した会員を中心に、ファーストエイドやガイディングの知識・技術を持ち、定期的な研修を受けることで、常に新しい知識・技術を身につけています。

●熊野の自然や歴史・文化に関する知識を、楽しく・分かりやすく伝える技量を持ち合わせています。

熊野の自然を見ることだけでなく、それを理解し深く興味を持って頂き、心と身体で感じ観て頂けるような伝え方を重視した研修カリキュラムを設けて研修しています。

●ガイド本人が誰よりも熊野好きであり、お客様と同様に熊野の自然（山・川・海）対してモチベーションをもって楽しんでいきます。

季節を問わず熊野の自然とかがわっており、常に目標を持ってガイドに取り組んでいます。

◆ビジョン・ミッション

「熊野の自然環境の保全と有効活用する事」。

自然環境を保全・有効活用を可能にするのは「我々（地域に住まいする皆）自身」です。

当協会のビジョンを想像して下さい。私達はビジョンを現実のものとしていきます。

◇熊野ガイド協会ビジョン

- 自然を保全し有効活用していきます。

ほとんどの世界的自然景勝地では有償ガイドが引率する「ガイディングツアー」が実施されています。

- 熊野でプロの「ガイド」という仕事を認知させます。

アジア全域でガイドが百万人、世界中で数千万人活動しています。

- 熊野でもガイドを主たる仕事とできるガイドを育成する。

先進地域では、ほとんどのガイドが、ガイディングのみで生計を立てている。

- ガイドが仕事として認知され、憧れの職業になるよう努力いたします。

先進地域では子供達になりたい職業の第1位が「ガイド」である。

- 熊野で生まれ育った子供達が、熊野の自然を保全し有効活用（ガイド）し生活できるようにする。

世界では、自身の生まれ育った自然を愛し案内しているガイドが数多く存在している。

◆協会概要

熊野ガイド協会は国内外において、自然を保全し、安全で楽しい自然体験活動の普及に寄与することを目的とする団体です。

- 目的:熊野の自然環境の保全と有効活用、そしてプロガイドの育成。そのための「行動」が「使命」です。
- 名称:熊野ガイド協会 (<http://kumano-guide.net>)
- 会長:上野勝美 副会長:森田渉
- 本部住所:〒647-1731 和歌山県田辺市本宮町本宮 159-1 TEL:0735-42-0220【くまのエクスペリエンス内】
- 三重県支部住所:〒519-3618 三重県尾鷲市栄町 11-9 TEL:0597-25-2282【(有)ドーモ 小山ハウス内】
- 設立:2015年3月1日
- 事業内容:アウトドア(山、川、海)におけるガイドングの企画、催行、
アウトドアガイドの育成・養成、アウトドア事業に於けるリスクマネジメント等の講演・実践指導。

発起人プロフィール

- 会長:上野勝美(1968年生まれ) くまのエクスペリエンス 代表 <http://www.kumano-experience.com/>

主なアウトドア資格

- ・アメリカカヌー協会(ACA) ホワイトウォーターカヤックインストラクター (現 Level4)
- ・ニュージーランドカヌー協会(NZCA) ベーシックカヤックセーフティ 修了
- ・レスキュー3 スィフトウォーターレスキュー レベル1 修了
- ・日本カヌー連盟 日本レクリエーションカヌー協会(JRCA) シーシニアインストラクター 修了
- ・日本セーフティーカヌーイング協会(JSCA) インストラクター I 修了
- ・日本山岳ガイド協会 認定 登山ガイドステージIIガイド
- ・日本山岳ガイド協会 認定 スキーガイドステージIガイド
- ・文部科学省・環境省登録 インタープリテーションネットワーク ジャパン スクールインタープリター養成講師
- ・自然体験活動推進協議会(CONE) リーダー
- ・日本ネイチャーゲーム協会 ネイチャーゲームリーダー
- ・The Institute for Earth Education-JAPAN(地球教育研究所日本支部) インタープリティブデザイン 修了

- 副会長:森田渉(1976年生まれ) (有)ドーモ 小山ハウス 代表 <http://www.oyamahouse.dohmo.jp/>

主なアウトドア資格

- ・日本カヌー連盟 日本レクリエーションカヌー協会(JRCA) シーシニアインストラクター 修了
- ・日本セーフティーカヌーイング協会(JSCA) インストラクターII シーカヤック
- ・日本セーフティーカヌーイング協会(JSCA) CPR&AED 指導員
- ・川に学ぶ体験活動協議会(RAC) リーダー
- ・自然体験活動推進協議会(CONE) リーダー
- ・日本スノーケリング協会 インストラクター
- ・Slipstream Wilderness First aid(野外救急法) 50時間コース修了
- ・国立青少年教育振興機構 小学校長期自然体験活動指導者 全体指導者
- ・二級小型船舶操縦士

- 理事:橋本敬二(1966年生まれ) 青空ファン 代表 <http://www.alpine-river.com/>

主なアウトドア資格

- ・日本山岳ガイド協会 認定 山岳ガイド
- ・環境省認定自然環境指導員
- ・カナダ BC州ラフティング協会(BCROA) 認定 パドルラフティングガイド
- ・カナダ BC州ラフティング協会(BCROA) 認定 オールラフティングガイド
- ・セントジョンアンブランス ファーストエイドレベル1 修了